

【2019 年度 助成団体一覧】

高額(1 団体)

団体名	主な活動地	活動概要
森のようちえん森のたね	中富良野町	<p>森のようちえん 森のたね 2019 年度活動の継続</p> <p>森林・自然を慈しむ豊かな心を育み、大人になっても次世代へつないでくれる立場を担う大人へ成長してくれることを目的に、自然体験活動を基軸にした育児(保育)を自主保育(相互預かり合い)で行っている。園舎がないために国の認可が受けられず、運営費は全て保護者負担のため、負担が大きい。安心して預けられる活動を継続していきたい。</p>

小額(19 団体)

団体名	主な活動地	活動概要
北海道林業技士会	札幌市	<p>会員の資質向上を図り、森林・林業の発展に寄するとともに、小中学生や一般市民を対象にした自然環境教育に関わる活動を展開。主として札幌市立幌南小学校、江別市立野幌小学校、同上江別小学校の自然体験学習の支援及び野幌森林公園をフィールドに一般市民を対象にした森林観察会を実施、森林・林業の普及啓蒙活動を積極的に展開。</p>
森づくり調査研究会	江別市	<p>広葉樹の天然更新稚樹をポットで育成したものを春季、夏休みに小学生及び一般市民を対象に植樹体験したり、下草刈りなどの保育作業、枝払い作業体験を開催。また、イベント開催時に参加者が遊びながら学べる森林の働きや動植物について森林観察や体験を実施。</p> <p>ミズナラ等の種子採種、3 企業への森づくり指導なども継続して取り組む予定。</p>
森林ボランティア 「オホーツクの会」	北見市	<p>森林の中で子どもたちに森林の役割・大切さを教える森林環境教育を実施。また、森林の中で自然と親しみ、学び、森林の持つ公益的機能の増進を図るとともに森林・林業に対する自らの意識を高め、共感する人の輪を広げている。継続活動として、簡易な保育作業や調査、平行して幅広いボランティア活動を進めるために会員相互の情報交換や親睦を深める活動に取り組む。</p>
当別森林ボランティア 「シラカンバ」	当別町	<p>主に当別町在所の森林を拠点に 140 年の森刈払、22 世紀の森刈払、協働の森下草刈り、炭焼きなど、身近な森林保全や自然環境保全に取り組む。また、活動を通じ、自然との共生を学び仲間意識の更なる向上を目指す。</p>
間伐ボランティア 札幌ウディーズ	札幌市	<p>間伐を主とした山林の手入れにより、森林の持つ役割の手助けをして、環境整備に貢献していく。今後本活動を維持し、さらに参加人数を増やしていく。また今年は会員間のコミュニケーション促進に力を入れる。</p>

自然体験活動指導者 ネットワーク えんりっと	苫小牧市	子育て世代の母親たちが森林環境教育や自然体験活動のノウハウを活かし次世代や森と接点の少ない人々に機会の提供を行ってきた。2017年にスタートさせた「にこ森」(障がいをもっている子どもでも安心して楽しめる場)の継続と森を楽しむ場として地域に定着させたい。
いしかり森林ボランティア 「クマゲラ」	石狩市	石狩市の厚田などの市有林「千年の森」の植樹等の保全活動植樹用の種子を自宅で育てる「キノシュ木育里親運動の展開市民が森と親しむ会の実施 市内小学校での「森林総合学習」の指導など市民や次世代を担う小学生に森の大切さを知ってもらうなど啓もう活動にも力を注いでいく。
特定非営利活動法人 「エゾシカネット」	札幌市	エゾシカ問題や有効活用の啓発活動をつうじて【環境保全促進の機運を高めたり北海道の経済へ寄与する】ことを目的にエゾシカ資源の普及・利活用やおもに子ども中心の体験型環境啓発運動 自然や森を元気にする活動など年間を通して色々な活動や情報を発信していく。
北海道グッド・トイ委員会	札幌市	北海道において良質なおもちゃと豊かな遊びを通じて地域社会の多世代間の交流に寄与したい。会員の資質向上につとめる。木育ひろばを開催する会員が増えるなか道東に木育セットを整える。2年間開催している札幌「チカホ」でのイベントも広報と会員間の交流を図りながら継続していきたい。
特定非営利活動法人 ナショナルトラスト ・チコロナイ	平取町	アイヌ民族がかつて恵をうけて暮らしていた自然林を再生、保全し後世に引き継ぎ、アイヌ文化を学び環境の保全を図ることを目的としている。役員の交代により若い世代が子ども連れでも参加しやすい事業形態を展開していく。
特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	釧路市	釧路湿原保全のため自然保護地を作る。荒廃地には自ら育てた苗木を用い緑化し水源林を再生する。釧路湿原とその周辺に27か所計456haの自然保護地を管理。これまでに地元産苗木を毎年600~2000本植栽。苗畑には1万本育成中。地元産苗木で地域の森林の遺伝的特性を守る方法を普及したい。水源林再生により釧路湿原を守っていく。
河川愛護団体 リバーネット21ながぬま	長沼町	水害防止と地球温暖化防止のため小鳥のさえずりの聞こえる森づくりに取り組む。地元馬追山で採種し、苗を育て植樹、経過観察する。子ども対象に木工教室開催。ジオラマを作り保水力実験で森林の洪水被害防止を学ぶ。会員高齢化と子どもの参加が課題。植樹を世代間、地域住民との交流の場にする。
北海道自伐型林業推進協議会	白老町	自伐型林業の普及を目指し2016年から自伐型林業の研修事業開始。2017年度延べ100名の受講者。2018年度研修とフォーラム開催。今後、広葉樹施業の利活用の調査や研修活動を実施したい。薪やホダ木等林産物生産につながる担い手を育成したい。

南かやべ森と海の会	函館市	川汲川、大舟川流域の森林等の整備・保全及び河川環境の保全を推進することを目的に、川汲公園や大船遺跡公園での植樹、豊崎町「昆布の森づくり事業」植栽地での草刈り、サクラマス放流事業など行う。植樹による森づくり活動で森林の持つ多様な機能の推進を図る。
木育マイスター道南支部	森町	子どもをはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組を推進する。道が推奨する「木育」の基本理念に基づき 18 名のマイスターがそれぞれ様々なプログラムを提供。2017 年度木育フェスタ参加者は 550 名となった。参加者のニーズや出展者のニーズも把握できるようにしていきたい。
フォレストクリエイティブ(TACK)	当麻町	北海道の自然を大切にし、障がいを持った方や一般の方と森づくり自然体験活動を積極的に楽しみ、後世に存続可能な環境を残していく。身近なフィールドをしっかりと整備し、そのフィールドで体験活動をより多くの方と積極的にたのしみたい。
木育マイスター道東支部	弟子屈町	木育理念を推進するため、主に釧路根室管内の木育マイスターが連携して活動。主な活動は、木育マイスター各自の事業をサポート。また、ここで請け負えない依頼など木育活動の受け皿として活動している。今後の活動により、木育マイスター道東支部の認知度を高め、より木育活動の推進を図っていきたい。
旭山自然調査隊	札幌市	旭山記念公園及びその周辺の都市環境林で生きものの繁殖地を保護することを目的に生きものの調査、啓発看板の製作、近隣小学校への啓発活動等を行っている。継続して安定した活動を行いたい。
釧路武佐の森の会	釧路市	武佐の森の優れた自然の価値を広く市民に訴え、保存をはかる。そのため観察会、講演会、森の美化・下草刈り、小学校などへの出前授業等を実施。平成 13 年に市の指定緑地となり散策路などが充実してきたが、老朽化も進み、何かとボランティアの重要性が見直されている。一部改修が行われるが、これを機に会として市民に呼び掛け、樹名板なども取り付け、より市民に親しまれる森にしていきたい。